

## 第三者保証（社会）

Honda は、社会関連データに関して、より高い透明性を確保し、信頼性を担保しながら情報公開を行うために、本レポートの の付された 2021 年度の社会関連データについて、Deloitte Touche Tohmatsu Limited のメンバーファームである有限責任監査法人トーマツの関係会社「デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社」による第三者保証を受けています。

### 保証範囲

#### 保証対象とした社会関連データ：

- 休業災害度数率（国内）

**Deloitte.**  
デロイトトーマツ

#### 独立した第三者保証報告書

2022年6月20日

本田技研工業株式会社

取締役 代表執行役社長

最高経営責任者 三部 敏宏 殿

デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社  
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号

代表取締役 杉山 雅彦

デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社（以下「当社」という。）は、本田技研工業株式会社（以下「会社」という。）が作成した「Honda Sustainability Report 2022」（以下「報告書」という。）に記載されている の付された 2021 年度の休業災害度数率（以下「社会関連データ」という。）について、限定的保証業務を実施した。

#### 会社の責任

会社は、会社が採用した算定及び報告の基準（報告書の社会関連データに注記）に準拠して社会関連データを作成する責任を負っている。

#### 当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づき、国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規程」が定める独立性及びその他の要件を遵守した。また、当社は、国際品質管理基準第 1 号「財務諸表の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所の品質管理」に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

#### 当社の責任

当社の責任は、当社が実施した手続及び当社が入手した証拠に基づいて、社会関連データに対する限定的保証の結論を表明することにある。当社は、「国際保証業務基準 3000 過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」（国際監査・保証基準審議会）及び「サステナビリティ情報審査実務指針」（サステナビリティ情報審査協会）に準拠して、限定的保証業務を実施した。

当社が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、質問、プロセスの観察、文書の閲覧、分析的手続、算定方法及び報告方針の適切性の検討、報告書の基礎となる記録との照合又は調整、及び以下を含んでいる。

- ・ データの網羅性、データ収集方法、原始データ及び現場に適用される仮定を評価するため、責任者への質問、証憑及び関連文書の閲覧を含む手続により、事業所の調査を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務に対する手続と比べて、その種類と実施時期が異なり、その実施範囲は狭い。その結果、当社が実施した限定的保証業務で得た保証水準は、合理的保証業務を実施したとすれば得られたであろう保証水準ほどは高くない。

#### 限定的保証の結論

当社が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、社会関連データが、会社が採用した算定及び報告の基準に準拠して作成されていないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

以上

Member of  
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

## 7 パフォーマンス報告

|    |     |
|----|-----|
| 環境 | 55  |
| 安全 | 79  |
| 品質 | 96  |
| 人材 | 112 |

## 基本的な考え方

## グローバルマネジメント

## 人材に関する取り組み

## — 人材関連データ

|          |     |
|----------|-----|
| サプライチェーン | 139 |
| 社会貢献活動   | 155 |

## 人材関連データ

## 日本における従業員 1 人当たりの総労働時間・年次有給休暇の平均取得日数

|                  | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年 | 2021 年度 |
|------------------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 従業員 1 人当たりの総労働時間 | 1,932   | 1,909   | 1,997   | 1,953  | 1,955   |
| 年次有給休暇の平均取得日数    | 18.7    | 19.3    | 18.8    | 17.2   | 19.5    |

## 人材評価プログラムを受けている従業員の割合 (%)

| 地域         | 地域人材評価プログラムの対象となる従業員の割合 |
|------------|-------------------------|
| 北米         | 99.8                    |
| 南米         | 96.3                    |
| 欧州・アフリカ・中東 | 100.0                   |
| アジア・大洋州    | 96.3                    |
| 中国         | 98.6                    |

## 日本における業績連動報酬の比率 (%)

| 階層  | 報酬全体に占める業績連動報酬の比率 |
|-----|-------------------|
| 役員  | 50 <sup>※</sup>   |
| 管理職 | 37                |

※役員には、一定額の自社株購入分を含む。

## 日本における初任給一覧

|          | 月給 (円)  | 最低賃金との比較 (%) |
|----------|---------|--------------|
| 高校       | 182,900 | 111          |
| 高専・短大    | 204,300 | 124          |
| 大学       | 228,000 | 139          |
| 大学院 (修士) | 254,900 | 155          |

・最低賃金は東京都の最低賃金 (1,013 円 / 時) より、1 ヶ月 20.3 日、8 時間労働として算出。なお、等級別の給与制度となっており、同一資格等級での男女別・地域別格差はありません。

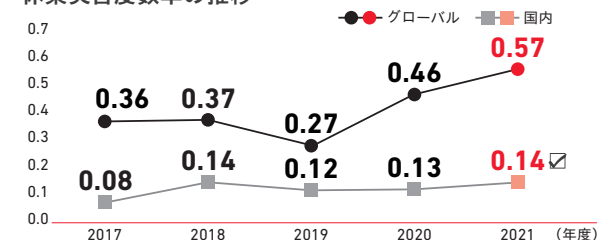
## 日本における従業員活性化 (6 要件全 24 設問、5 点満点の平均点)

目標値 : 3.50 ポイント以上 (Honda で働く活性化が非常に良好な状態<sup>※</sup>)

|                | 2020 年度 | 2021 年度 |
|----------------|---------|---------|
| 全従業員           | 3.55    | 3.48    |
| 全従業員に対する回答者の割合 | 97.0%   | 94.5%   |

※ Honda で働く活性化が非常に良好な状態とは、「自由闊達な職場」「やりがいのある仕事」「頑張れば報われる環境がある」「Honda で働くことに誇りを持っている」「マネジメントは信頼できる」「働きやすい環境がある」という 6 つの要件で構成しています。

## 休業災害度数率の推移



・グローバル (休業度数率) : 本田技研工業株式会社国内生産領域 5 拠点、海外 64 拠点の延べ 100 万労働時間当たりの休業災害件数。  
・国内 (休業度数率) : 本田技研工業株式会社労働協約適用会社の延べ 100 万労働時間当たりの休業災害件数。

※休業災害度数率 (国内) の対象範囲 : 本田技研工業株式会社の労働協約適用会社

- ・本田技研工業株式会社
- ・株式会社本田技術研究所
- ・株式会社ホンダ・レーシング
- ・学校法人ホンダ学園
- ・株式会社ホンダアクセス

☑ の付されたデータにつきましては、第三者保証を受けています。

